

●加古川総合保健センター

▶場所 加古川総合保健センター

▶内容 がん検診、特定健診・基本健診、その他の検診（肝炎ウイルス、骨粗しょう症、胃がんリスク検査（ABC分類））

7月	2日(木)、6日(月)、10日(金)、15日(水)、29日(水)
8月	10日(月)、11日(火)、18日(火)、21日(金)、26日(水)、28日(金)
9月	7日(月)、10日(木)、12日(土)、16日(水)、18日(金)、25日(金)、29日(火)
10月	2日(金)、5日(月)、9日(金)、15日(木)、20日(火)、22日(木)、28日(水)、29日(木)、31日(土)
11月	5日(木)、11日(水)、13日(金)、16日(月)、20日(金)、26日(木)、28日(土)
12月	1日(火)、3日(木)、9日(水)、11日(金)
1月	6日(水)、9日(土)、14日(木)、15日(金)、19日(火)、22日(金)、30日(土)
2月	2日(火)、10日(水)、12日(金)、17日(水)、19日(金)、22日(月)、25日(木)、27日(土)

※□で囲っている日程は、加古川総合保健センターまで無料送迎バスを運行します。

【送迎バスの運行】播磨町役場12：30発

※公共交通機関をご利用の場合は、広報はりま5月号と同時に配布した「公共交通 時刻表」でご自宅の最寄バス停の時刻表を確認し、土山駅または東加古川駅からJRをご利用になって加古川駅までお越しください。加古川総合保健センターはJR加古川駅北口すぐのところにあります。

●中央公民館

▶場所 中央公民館

▶内容 がん検診（肺がん、胃がん、大腸がん）、特定健診・基本健診、その他の検診（肝炎ウイルス、骨粗しょう症、胃がんリスク検査（ABC分類））

7月	23日(木)、24日(金)、25日(土)
10月	26日(月)
1月	25日(月)、26日(火)

●巡回がん検診

▶場所 野添コミセン、福祉会館

▶対象 65歳以上の方

▶内容 がん検診（肺がん、胃がん、大腸がん）

野添コミセン	7月27日(月)、30日(木)、31日(金)
福祉会館	7月28日(火)、29日(水)

●胃がんリスク検査（ABC分類）が始まります！

血液検査でピロリ菌に感染しているかどうかと胃の萎縮度を調べて胃がんになりやすいかどうかを分類します。ただし、胃がんがあるかどうかを判定するものではありません。

ピロリ菌の感染によって、胃粘膜の萎縮が進むと、胃がんが発生しやすくなります。検査結果は、胃がんになりやすいリスク別に左記のとおりA～Eに分類されます。

A 異常なし
ピロリ菌に感染していない可能性が高く、胃がんになるリスクは極めて低い。

B 精密検査が必要
ピロリ菌に感染している可能性が高く、胃がんリスクがある。

C 精密検査が必要
ピロリ菌に感染している可能性が高く、胃粘膜の萎縮もあり、胃がんリスクがある。

D 精密検査が必要
一般的に胃がんのリスクが最も高い

E 精密検査が必要
過去にピロリ菌を除菌された方。今後とも胃がんリスクあり。

リスクが低い方（A）は、毎年胃がん検診を受ける必要がなくなります。B～Dの方は精密検査（胃カメラ）を受け、ピロリ菌の感染と診断された場合は、除菌治療をお勧めします。Eの既に除菌された方は、かかりつけ医の指示に従って精密検査を受けてください。

特定健診も受けましょう

40歳以上の方は、医療保険者が特定健診を実施しています。

播磨町からは、4月1日に播磨町国民健康保険ご加入の方に、5月中旬に特定健診のご案内を送付していますので、一緒に加古川総合保健センターまたは中央公民館でお受けください。がん検診をご希望されない場合は、ご案内に同封している医療機関一覧の中からお選びいただき、受診してください。

胃がんリスク検査（ABC分類）

生涯に一度の検査です。（18ページのとおり、大人になって感染することがないためです）

▶対象 18歳以上 ▶費用 無料

▶受診場所 加古川総合保健センター、中央公民館

次に該当する方は、正しい結果が得られない可能性が極めて高いため、かかりつけ医にご相談ください。

- ・食道、胃、十二指腸の病気で治療中の方
- ・胃の手術を受けた方
- ・腎不全の方
- ・抗生剤、胃酸を抑える薬、ある種の胃粘膜保護薬を内服している方
- ・ピロリ菌の除菌をした方

早期発見の力を握るがん検診

がん検診を受けましょう

▶問合せ すこやか環境グループ ☎079 (435) 2611

2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなる時代です。がんでも、早期発見・早期治療により、命を落とさなくてもすむ場合があります。早期発見が非常に大事です。ぜひ、自分のため・家族のためにお受けください。

がん検診の検査方法

＜肺がん検診＞
胸部X線検査（レントゲン）で、肺全体を見ます。また、たばこの本数と喫煙年数で一定以上の数値になる方には、痰にがん細胞が混ざっていないか調べる喀痰検査があります。

＜大腸がん検診＞
がんやポリープが大腸にあると便に血液が混ざるので、便の表面を擦って採る検便検査を行います。

＜乳がん検診＞
乳房にしこりがないかをみる視触診と、乳房を装置ではさみ、圧迫してX線（レントゲン）撮影するマンモグラフィ検査とを併用します。

＜子宮がん検診＞
膣内に器具を入れておりものの状態や炎症の有無を見る視診と、ブラシで頸部を擦って顕微鏡で見る細胞診を行います。

＜胃がん検診＞
胃X線検査（レントゲン）で、造影剤（バリウム）と発泡剤（胃を膨らませる薬）を飲み、レントゲンで胃の形や粘膜を見る検査です。

この検査では、「造影剤を飲むのがつらい」「便秘するタイプなので、造影剤が出なかつたらどうしよう」という不安がある。「レントゲン台で、レバーを持ってグルグル動かされるのがしんどくてつらい」という声をお聞きしていました。しかし、今年度から胃がん検診が少し変わります。

新しい胃がん検診とは？

●ピロリ菌判定（血液検査）
今までの胃がん検診では、胃がんがあるかどうかを見ていただけですが、今後はピロリ菌に感染しているかどうか（現在だけでなく、過去に感染していたかも含めて）も判定します。

※ピロリ菌とは？

ピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ）は胃の粘膜にすみつき、胃の壁を傷つける細菌で、慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胃がんなどの原因になっていることがわかっています。

50歳以上の70%以上の方、若い方では20～30%は感染していると考えられており、免疫力が弱い幼児期に口から感染すると考えられています。ですので、ピロリ菌に感染している方は、口の中にもピロリ菌がいるので、口移しで食事を与えるのはやめましょう。（免疫力の強い成人で感染することはほとんどないようです）

▶がん検診と対象、料金など

項目	対象者	料金
肺がん（結核）		700円（65歳以上無料）
胃がん	18歳以上（平成10年3月31日以前生まれ）	1,400円（65歳以上無料）
大腸がん		1,000円（65歳以上無料）
骨粗しょう症		500円
肝炎ウイルス	40歳以上（昭和51年3月31日以前生まれ）	1,000円
子宮がん	18歳以上（平成10年3月31日以前生まれ）	1,200円（65歳以上無料）
乳がん		医療機関で受診する場合は、1,500円（65歳以上無料）
胃がんリスク検査（ABC分類）	18歳以上（平成10年3月31日以前生まれ）	無料
健康診査	30歳～39歳（昭和51年4月1日～昭和61年3月31日生まれ）	1,000円

加古川総合保健センター

所在地 加古川市加古川町篠原町103-3
 ▶健診申込み電話番号 ☎079 (429) 2923
 ※12月23日～1月4日は、健診の申込み受付はできません